



おかげさまで15年目を迎えることができました。皆様のご愛顧に感謝いたします。

# エコバウリフォーム・ニュース

4月号《バッシュ・デザイン×自然素材》を多用したエコバウ・リフォーム推進中です！

## ♡ Coast to Coast! 米国で最も歴史の古い街/メリーランド州・ボルチモア(リモデリングショー)



短縮と合理的な手法は重要であり、解体や現状復帰の作業効率を上げるため③合理的なツールが多く見られた。④⑤セミナー会場では作業効率を上げるためのワークショップが開催されていた。日本の省エネにあたるエネルギーコンサベーション（エネルギーの流出を防ぐ保存）に関するテーマは多くはない。日本では、目新しい設備や省エネ機器の展覧が主で、営業系コンサルによる金儲けセミナーに人集りができる。米国の場合、他の製造業と同様に工事の生産性こそが企業利益の鍵と考え、業務効率向上をリモデラーたちは常に考え仕事に取り組んでいる。今回のリモデリングショーで唯一日本からの出展は、⑥日産の作業車であった。警察や消防同様に格好よさは労働者の士気を高め、職業選択を大いにPRするものである。IT搭載の移動オフィス兼作業車は乗り込みたいモデルカーがズラリと並んでいた。（次回は、ボルチモアの建築）



←驚くほど早く解体出来る  
「アップデート」専用の解体道具

③ 精度と作業効率の  
高い構造用金物→



④ 人気の高い作業効率向上のワークショップとセミナー



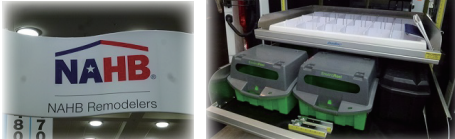
⑤



⑥ 移動オフィスとしての作業車は、労働者の憧れのスタイル



効率よいラゲッジの収納→  
全米リモデラーズ協会↓



# 住宅より資産を築く国、失う国 第11回・空き家を解体するだけで税金6倍の負動産



誰も住まない「空き家」が各地で日本の原風景と変わっている

## 空家を解体=固定資産税は6倍!

先月の週刊現代は『まもなく不動産大暴落』という特集を組んだ。住宅ローン金利は過去最低を更新、一見新築購入が絶好のチャンスにも見えるが暴落は必須。最大の要因は「供給過剰」で今後、既存住宅が大量に中古市場に溢れる。現在の税法では、空家を解体するだけで固定資産税は6倍徴収される。関心がないと思うが、これがお婆ちゃんや住んだ朽ちた「空き家」が放置されている最大

の理由だ。国は倒壊や放火される危険な家と「空き家問題」の本質をすり替え、その対策として2月末から「空き家対策特別措置法」を施行する。これにより「空き家」の固定資産税は5月以降に一気に6倍に増税する。この増税をきっかけに誰も住んでいない空き家を仕方なしに「売却」したり「賃貸」に回す所有者が続出する。驚くのは、空き家の数だ。国の調べで全国の空き家は820万件を突破。実に7軒に1軒は誰も住んでいない。東京の空き家は820万件は世田谷区と大田区にある住宅を足した数より多い。これを機に中古不動産は一気に供給過剰となる。

実家という概念はない」と語り日本人は「先祖が守ってきた土地への執着がある」と言われながら、自分が生まれた実家でさえ、お荷物に思っている人が多い」と真実を指摘した。米国では「20年も同じ家に住む」こと自体が珍しく家族構成の変化収入の増減で住む場所、住宅の規模も変わるのが普通。その「普通」の事(=個人の財産を守る事)を国家として担保するため、物価上昇以上に住宅の資産価値が上り、中古住宅(既存住宅)が流通できる環境を整備している。日本では「個人の「財産権」を守る」という考えが、空き家問題を複雑にし「権利を守る」だけで「資産価値を守る」方策が無く個人資産や社会資産を失わせる結果となっているのが現状である。(次回も、空家の問題)

## 建築を工学技術と捉える日本 VS 建築を人文科学として教育する米国 (第2回)



工学(エンジニアリング)と人文科学(ヒューマニティ)

一般的に欧米では住宅・建築・都市を人間の生活空間という人文的(ヒューマニティ)の概念で考える。日本では「入れ物」として造るものは「物づくり」の体系として扱い、その効用を發揮する物理的空間を機能と性能を満足する「物」として工学(エンジニアリング)の領域の学問と考えるドグマ(教義)を大学や専門

学校で教育している。しかし、明治の初め日本は近代国家目指し、住宅・建築・都市空間を世界に学び欧米と同じ人文科学(ヒューマニティ)の学問体系として教育していた。日本でも近代国家の空間デザインが必要であると考へた日本政府は、英国からジョサイア・コンドルをドイツからエッケやベックマンを招請し、ルネッサンスデザイン教育を行ってきた。欧米先進国の仲間入りと近代先進国となるためのデザインを目指し辰野金吾を先頭とし東京首都計画が実行された。東京駅、日本銀行、国会議事堂、全国の学校、官公庁の建築物に人文科学(ヒューマニティ)を建築教育の基本とした日本の意匠(デザイン)の夜明けが明治時代であった。その矢先の関東大震災により



東大工学部7号館(明治27年辰野金吾による設計(2015年2月撮影))

多数の建築が倒壊し東京大学建築学主任教授、佐野利器から「日本の建築教育の基本は耐震構造と安全教育に軸足を移しデザイン中心の建築教育は止めるべき」と造家学界(現在の日本建築学会)で起き「意匠・構造」論争となった。以後の日本の建築学は世界に類を見ない工学エンジニアリングの教育分野へと舵が切られた。それは日本の建築学会の大きな転換の瞬間でもあった。(次回も、日本の建築教育)

## 🍏 (株)アップル、社員が参加した講習会・イベント 🍏

- 2/ 3(火)【省IT住宅・IT外実務者講習会】宇都宮市 主催:国土交通省
- 2/ 10(火)【改正新・省ITキ-基準解説セミナー】東京 主催:(社)川'ツツ'デザイン協議会
- 2/ 8(日)【国宝遊楽苑・明治村外建築講習会】愛知・大山 主催:日本民家再生協会・建築研鑽会
- 2/ 20(金)【IT'ツツ'デザイン住宅視察セミナー2015】埼玉県・本庄 主催:(社)川'ツツ'デザイン協議会



次回5月号も連載!  
【米国・住宅地開視察】レポートを掲載いたします

★エコ建築&環境の取り組みは。。。リフォームアップル [www.reform-apple.com](http://www.reform-apple.com) イベント

**Reform Apple**  
株式会社アップル 下野市祇園1-20-1  
ホームページで施工例がご覧になれます  
[www.reform-apple.com](http://www.reform-apple.com)

